

世界はひとつ

2018年2月 No. 141

(公財) 岐阜県国際交流センター(略称GIC) 発行
国際交流・多文化共生情報誌

日本語版



©岐阜県 清流の国ぎふ・みち #0195

外国人県民が安心・安全に暮らせる環境づくり

—外国人住民に係る防災事業を関市と連携して開催しました—

岐阜県には現在、約4万8千人の外国人の方が暮らしていますが、大地震などの大規模災害が発生した場合には、日本語に不慣れな方に対する支援が必要になります。当センターでは、地域の災害時における外国人支援体制の整備を図るため、「災害時多言語支援センター」の設置・運営訓練などを行う「災害時語学ボランティア研修」を開催しています。この支援センターは、大規模災害時に被災外国人の状況把握や多言語による情報提供・収集を行う拠点となる場所で、この研修を通してボランティア、行政、支援団体がそれぞれの役割や連携を確認し、災害時の対応に備えています。また、外国人住民の防災意識の啓発を図るためのワークショップも開催し、外国人の皆さんが安心・安全に暮らせる環境づくりに取り組んでいます。

平成29年11月12日にわかくさ・プラザ関市総合福祉会館にて「災害時外国人支援ボランティア研修」及び「外国人住民向け防災ワークショップ」を開催しました。

災害時外国人支援ボランティア研修では、熊本地震で外国人被災者の支援にあられた、(一財)熊本市国際交流振興事業団から八木浩光様をお招きし、支援のノウハウ、ポイントを講義いただきました。その後は、災害時に外国人支援の拠点となる「災害時多言語支援センター」の実地訓練を行い、行政から発信される情報をどのように翻訳し伝えるのか、避難所にいる外国人をどのようにサポートするのか、ディスカッションを交えながらみんなで考えました。「避難所巡回訓練」も行い、防災ワークショップに参加された外国人住民の方々に被災者役を演じていただき、ヒアリングの練習を行いました。母語がそれぞれ違うなか各々工夫し、やさしい日本語に言い換えたり、翻訳アプリを使用したり、ジェスチャーを取り入れるなどしてコミュニケーションをとっていました。

防災ワークショップは多文化演劇ユニットMICHUさんにご協力いただきました。体を動かしたり、カードを使ったゲームを行うなどして自分の身を守るためにとるべき行動や必要な日本語、助けてほしいときに使う言葉を知っていただき、楽しく防災について学ぶことができました。



災害時外国人支援ボランティア研修



防災ワークショップ

CONTENTS 目次

センターの事業報告 P2

- ・外国人の子どもに日本語指導者研修
- ・医療通訳ボランティア研修

国際交流員の活動報告 P3

- ・ハローギフ・ハローワールド2017
- ・文化の森の秋まつりに参加しました!

国際交流員からの挨拶・世界の文化紹介 P4

- ・呉国際交流員から退任のご挨拶
- ・春節にまつわる現代中国事情

外国人住民向けの生活情報 P5・6

- ・岐阜県立国際たくみアカデミーの紹介
- ・確定申告・小学校入学前の準備について

岐阜県で活躍する団体の紹介 P7

- ・岐阜・ベトナム友好協会

JICA岐阜県デスクからのお知らせ

インフォメーション P8

- ・センターからのお知らせなど

がいこくじん こ じゅうじつ がっこうせいかつ おく
外国人の子どもが充実した学校生活を送るために

がいこく じん こ にほん こ し どう しゃ けん しゅう 外国人の子どもの日本語指導者研修

ぎふけん がいこくじんじゅうみん えいじゅうか すず にほんこしどう ひつよう がいこくじんじどうせいと そうか ほんめん がっこうがい こ にほんこしどうしゃ しゅうがくしえん にな て ふくく こ たち しえん ちいき かぎ
岐阜県では外国人住民の永住化が進み、日本語指導が必要な外国人児童生徒が増加する反面、学校外における子どもへの日本語指導者や就学支援の担い手は不足しており、子ども達を支援できる地域に限られています。

そうした中、大人向けに開催している地域の日本語ボランティア教室に、日本語や学校の宿題を学びにくる子どもが増加しており、「外国人の子ども」へ適切な指導を行える人材の育成が急務になっています。

そこで、当センターでは日本語教室の指導者の方等を対象とした、「外国人の子ども」の日本語指導者研修を行い、地域における日本語支援の担い手を育成しました。



こうぎようす 講義の様子



しえんきょうしつ けんがく 支援教室の見学

- 日 程:** 【第1回】6月30日(金) 【第2回】7月13日(木)
【第3回】8月22日(火) 【第4回】9月30日(土)
- 場 所:** <第1~3回>OKBふれあい会館(岐阜市)
<第4回>美濃加茂市生涯学習センター(美濃加茂市)
(特非)可児市国際交流協会(可児市)
- 内 容:** ・大人と子どもの指導方法の違い、異文化理解
・具体的な日本語指導方法、教材の活用方法等
・支援の心構えと注意点、子どもの支援教室の見学
- 参加者:** 64名



がいこくじん みな あんしん いりょうきかん じゅしん
外国人の皆さんが安心して医療機関を受診するために

いりょう つか やく けん しゅう 医療通訳ボランティア研修

当センターでは、日本語が不自由な外国人の方が安心して医療機関を受診することができるよう、県内の医療機関からの依頼に応じて医療通訳ボランティア(ポルトガル語、中国語及びタガログ語)を斡旋する「岐阜県医療通訳ボランティア斡旋事業」を運営しています。この事業の医療通訳ボランティアのスキルアップと、新たな通訳者の発掘及び育成のため、「医療通訳ボランティア研修」を実施しました。



びやういん じっしやう バーチャル病院の実習



じっしやう ロールプレイ実習

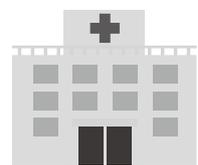
- 日 程:** 11月18日、19日(土日) 10:00~17:00
- 場 所:** [18日]可児市文化創造センターala(可児市)
[19日]岐阜大学医学部(岐阜市)

対象言語: ポルトガル語、中国語、タガログ語

- 内 容:** ・医療通訳者の役割、心得
・基礎的な医療知識、通訳技術、日本の医療制度
・バーチャル病院での実習
(産科、小児科、採血・注射、救急、医療面接の5ブース)
・ロールプレイ通訳実習
(医療現場で想定される通訳実習)

参加者: 60名

共 催: 岐阜大学医学部



「ハローギフ・ハローワールド2017」を開催しました!

10月29日(日)、国際交流の一大イベント「ハローギフ・ハローワールド2017」を、岐阜市の柳ヶ瀬商店街にある岐阜卓高島屋前わくわく広場とシネックスホールで開催しました。このイベントは、毎年当センターと岐阜県国際交流団体協議会が協働で開催しており、29回目を迎えた今年は、台風の影響による雨が降り続く中での開催となりました。例年に比べると来場者は若干少なかったものの、県内外に住む日本人や外国人の皆さんが多数訪れ、お子さんから大人まで幅広い年代の方々が楽しみながら各国の文化に親しみ、国際理解を深めるすばらしい機会となりました。



【ステージイベント】

わくわく広場のステージでは、日中国交正常化45周年記念、岐阜市・杭州市日中不再戦碑文交換55周年を記念した、中国琵琶奏者の宋ティンティンさんの演奏をはじめ、シャンソンやフラメンコ、ベリーダンス、インドネシアやペルーの民族舞踊、オーストラリアの先住民アボリジニの金管楽器であるディジュリドゥの演奏、ブラジル流ヒップアップダンスなど、世界各国の歌と踊りで盛り上がりました。また、日本文化の紹介として披露された琴の演奏や着物の着付けショーにも引き込まれました。私たち国際交流員もステージの司会をお手伝いし、緊張もしましたが、皆さんの演奏や演技を目の前で見・聞くことができ、とても素敵な経験となりました。



岐阜大学留学生の皆さんは息のぴったり合った演技でインドネシアの民族舞踊を披露しました。



十二単の着付けショーでは、衣装の美しさ、着付けの手際の良さに見入ってしまいました。



宋ティンティンさんが演奏する中国琵琶の音色は神秘的でとても美しく、時間が経つのを忘れるほどでした。

【世界の文化体験ブース】

シネックスホールでは、アメリカやヨーロッパ、アジア、アフリカ、オセアニアの様々な国と卓の根交流を図る県内の国際交流団体等がブース出展し、各国の文化や団体活動を紹介しました。コーヒーやチーズ、ヨーグルトなど特産品の試飲試食や民芸品の販売、民族衣装の着付け体験、外国語での名刺づくりも楽しめました。日本文化を紹介するコーナーでは、和紙で傘の作り方を教えるなど、来場者の皆さんがそれぞれ異文化を楽しみました。私たち国際交流員も、しおり作りのワークショップを開催しましたが、子どもたちはもちろん、留学生の皆さんなど外国人の方にも大好評でたくさんの方に来ていただき楽しい一日となりました。



☆ 県美術館・県図書館エリアの賑わいづくり~文化の森の秋祭り~ ☆



岐阜県美術館のひびのかつこ館長もしおりを作ったよ!



11月3日(金・祝)、岐阜県美術館・図書館エリア一帯で「文化の森の秋祭り」というイベントが行われました。その日は、美術館が無料開放であったこともあり、美術館と図書館の間の道路の歩行者天国はたくさんの来場者で賑わいました。美術館内では吹奏楽演奏やぎふの木のおもちゃ広場などが行われ、図書館エリアでは、懐かしの名作を上映する「なつかシネマ上映会」や県産食材のふるまい料理もありました。

わたしたち岐阜県国際交流センターは、図書館と共同で歩行者天国にブースを設け、しおりづくりを行いました。イベントに来場した子供からお年寄りの方まで、幅広い年齢の方がオリジナルしおりづくりに挑みました。台紙に好きなシールを貼ってラミネートをするという簡単な作り方ではありましたが、みんな楽しくやってくれました! 国旗シールやアルファベット文字のシールが大人気でした!



呉国際交流員から退任のご挨拶

岐阜に来るまで、岐阜県と特に接点はなく、岐阜については「日本有数の海のない県」「名古屋に近い県」ということくらいしか知りませんでした。しかし、岐阜での生活が終わろうとする今、ここを第二のふるさとと思い、この土地で出会った人々と離れたくない気持ちでいっぱいです。

この2年間、県国際交流センターで、語学講座や学校訪問、多文化共生サロンなどを通じ、自国の風習、料理、ゲーム等を皆様と分かち合い、皆様の納得した顔、満足した顔を見ると、私も幸せな気持ちでいっぱいになりました。中国人留学生と中国語の学習者との交流会で皆さんの熱心な交流ぶりを見て、周恩来が残した「日中友好とは、とどのつまり両国の人々の間の友好である」という言葉

を思い出しました。両国が友好関係を築くためには、政府間の努力がもちろん欠かせませんが、それよりも人と人との交流が基本であるということ、改めて実感しました。

休日には、桜の花びらが舞う岐阜公園、豪華絢爛な花火が上空で開く長良川、紅葉で真っ赤に染まった谷汲、雪化粧をした白川郷等の自然と風物、鮎、鶏ちゃん、富有柿等の食べ物、昔の伝統芸能が受け継がれた高山祭り、現代に生きる匠の技が体现される美濃和紙などの文化遺産等を存分に堪能しました。

国際交流員としての仕事はもうすぐ終わりますが、中日友好交流の仕事は終わっていません。帰国したら、日本語教師として岐阜で見た、感じた、学んだことを日本語科の学生に伝え、友好交流の輪が広がるように自分なりの力を尽くしたいです。

「さようなら」は言いません。「また会いましょう!」いつかまた皆さんに会いに来ます。皆さんも岐阜県の友好県省であり、私の故郷でもある江西省へ来てください!

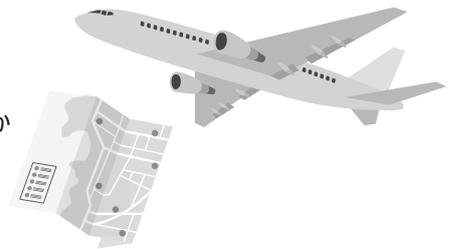


春節にまつわる現代中国事情

一家団欒、赤提灯と春聯(縁起のよい対句を書いた赤貼紙)、餃子は春節を語る際のキーワードですが、時代の変化に伴って、近年若者を中心に新たな過ごし方が流行ってきました。

海外旅行

春節前後の帰省ラッシュに伴う大渋滞から逃げようと、近年帰省の代わりに海外旅行に出かける人が増えています。もちろん、隣国の日本は人気の旅行先トップ3に上がっています。



年始挨拶のデジタル化

中国では、親戚や知人の家へ新年の挨拶まわりをする伝統があります。10年前から電話や携帯メールでの年始挨拶が徐々に広まり、近年では、SNSアプリで可愛い顔文字やアイコン付きの春節の挨拶文を送るのが一般的です。

電子お年玉

お年玉を渡す習慣にもデジタル化の浸透が進んでいます。オンライン金融サービスを通じて贈る電子お年玉は春節の新たな風物詩になっており、IT業界の一大産業となっています。



レンタル彼女

伝統的な家庭制度が守られている中国では、孫を待望する両親を納得させるために、パートナーのフリを演じてくれる「レンタル彼女」を連れて帰省するのも独身者の一つの選択肢です。

エコ爆竹

一部の都市部では騒音や大気汚染を防ぐため、爆竹禁止令が出されました。しかし、大空に響き渡る爆竹の音を伴わない正月は正月とは呼べない、との声も大きいです。その折衷案として煙の少ない「エコ爆竹」や爆竹の形に似せた電子爆竹が登場し、ネット販売で人気急上昇しています。



岐阜県立国際たくみアカデミーを知っていますか？

一製造業や建設業で正社員として働くために、働くときに役立つ資格をとるために、学べる学校が美濃加茂市にありますー

岐阜県は『モノづくり』といわれる製造業が盛んで、自動車の各種部品や工場を使う大きな機械や金型などのほか、プラスチック、刃物やボルトなどの金属、陶磁器、紙、家具・木工、繊維・衣服など私達に身近な生活必需品から様々な産業で使われる部品をつくる企業が多くあります。また、住宅やオフィスビルなどの建物や、道路や橋をつくらしたりする建設業も『モノづくり』です。その『モノづくり』の最前線の仕事現場は、専門的な知識や技術・技能を持ったエンジニアによって支えられています。

岐阜県立国際たくみアカデミーは、製造業や建設業で正社員として働くことを目指して、また、働く際に必要な専門的な知識や技術・技能を身につけ資格を取得することができる県立の職業能力開発機関です。

授業は教科書で学んだことを実習で体験しながら理解を深めていきます。実習では、実際の仕事で用いる機械や道具を使い、本当に現場で仕事をしているような環境で学ぶことができます。卒業後はほぼ100%就職します。県内で就職する人が多く、自宅から職場に通う人もいます。授業料が無料の科があり、有料の科でも大学や専門学校と比べると大変安くなっています。

国際たくみアカデミーは2つの学校に分かれていて、「職業能力開発校」と「職業能力開発短期大学校」があり、1年間又は2年間学びます。科は次のとおり5つあり、入学試験を受けて合格した方が入学できます。

国際たくみアカデミー職業能力開発校

①自動車エンジニア科

期間:2年間、定員:20名、授業料(年間):59,400円

二級自動車整備士の資格取得に必要な知識と技術を学びます。また、ハイブリッドカーなどの最新技術にも対応できる自動車整備士を目指します。



②設備システム科

期間:1年間、定員:10名、授業料無料

水道、ガス、電気の配管・配線、住宅の衛生設備(給湯設備、洗面化粧台、トイレ、ユニットバスなど)やエアコンを設置する設備工を目指します。卒業後は、住宅設備工事会社(水道・ガス・空調・電気)へ就職します。



③住宅建築科

期間:1年間、定員:20名、授業料無料

木造の住宅を建てる大工を目指します。卒業後は、住宅などの大工工事会社へ就職します。



国際たくみアカデミー職業能力開発短期大学校

④生産技術科

期間:2年間、定員:20名、授業料(年間):237,600円

部品設計製図・CADから、機械による金属加工、組付け、測定、制御など一連の実習を体験しながら、生産全体の流れ、生産管理を理解した実践技術者に求められる知識と技能を学びます。



⑤建築科

期間:2年間、定員:20名、授業料(年間):237,600円

設計から施工までを理解した建築現場のリーダーに必要な知識と技能を学びます。2級建築士の受験資格が得られます。毎年、数名の女子が入学しています。



①、④、⑥の科は高校を卒業した方や高等学校卒業程度認定試験に合格した方が受験できます。

②と③は15歳以上なら誰でも受験でき、入学試験は適性検査と面接を行います。受験料と入学金は無料です。4月からは授業で日本語をサポートするスタッフもいます。10人〜20人の少人数で学ぶので、わからないことはすぐに先生に聞くことができます。

またきめ細かいサポートで、生徒一人ひとりの能力を伸ばします。製造業や建設業で正社員として働きたい方、安定して働くために技術・技能を身に付けたい方、一度ぜひ、国際たくみアカデミーに見学いらしてください。

問い合わせには、当センターのトリオフォンをご利用ください！
→トリオフォンについては一番最後のページをご覧ください。

岐阜県立国際たくみアカデミー 職業能力開発短期大学校・職業能力開発校

住所:美濃加茂市蜂屋町上蜂屋3545-3

TEL:0574-25-2423

FAX:0574-25-2489

ホームページ: <http://www.takumi.ac.jp/>





確定申告について知っておきましょう

本記事は国税庁のHPを参考にし、一部抜粋し記載しています。分かりやすくするために簡潔にしていますが、自分が条件に当てはまるかなどは国税庁HP (<http://www.nta.go.jp/tetsuzuki/shinkoku/shotoku/tokushu/index.htm>) を必ずご確認ください。

確定申告とは、前の年の1月1日から12月31日までの所得に対して税率を計算し、源泉徴収された金額の過不足を清算する手続きです。給与明細に「所得税」と書かれている場合は源泉徴収されているため、毎年11月下旬に勤め先の企業で「年末調整」を行います。多くの場合確定申告は必要ありませんが、例外もありますので解説します。

確定申告を行う必要がある人

- ・所得税が源泉徴収されていない人。
- ・年収が200万円を超える人。
- ・副業等で所得が20万円以上ある人。
- ・給与を複数受けていて、年末調整されなかった給与の収入金額が20万円を超える人。

また、次の場合は確定申告することにより、納めすぎた所得税の還付がある可能性があります。ただし、所得税が0円の場合は、確定申告をしても還付はありません。

所得税の還付を受けられる可能性のある人

- ・年の途中で退職した人。
- ・多額な医療費を支払った人。(目安として10万円以上)
- ・特定の寄付をした人。(ふるさと納税など)
- ・住宅ローンを組んで住宅を購入した人。
- ・日本国外に、扶養する親族がいる人。(2002年1月1日以前に生まれた方が対象になります)

※扶養控除、配偶者(特別)控除の適用を受ける場合には、その親族に係る親族関係書類及び送金関係書類等の添付書類が必要です。

確定申告に必要な書類

- ・確定申告書
- ・源泉徴収票(原本)
- ※複数枚ある場合は全て必要です。
- ・医療費の明細書(控除を受ける場合)
- ・寄付金の領収書(控除を受ける場合)
- ・住宅購入に関する書類(控除を受ける場合)
- ・扶養控除関係書類(控除を受ける場合)

①親族関係書類 国外居住親族があなたの親族であることを証する書類
 ②送金関係書類 国外居住親族の生活費に充てるための支払いを行ったことを明らかにする書類

いずれの書類も、外国語で作成されている場合にはその翻訳文も必要です。

確定申告は非常に細かい条件があるので必ずしも上記に当てはまるとは限りません。詳しくは下記の税務署へお問い合わせください。

税務署名	所在地	電話番号	管轄地域	税務署名	所在地	電話番号	管轄地域
大垣	大垣市丸の内2-30	0584-78-4101	おながほし かいづし ようちゅうぐん 大垣市、海津市、養老郡 ふわぐん あんぼくぐん いびぐん 不破郡、安八郡、揖斐郡	せき 関	せきしかわまち 関市川間町2	0575-22-2233	せき みのし ぐじょうし 関市、美濃市、郡上市、かもくんのかもし 加茂郡、美濃加茂市
岐阜北	岐阜市千石町1-4	058-262-6131	ぎふし とうかいとうかい 岐阜市のうちJR東海高山 ほんせんいほくおほ とうかいぎふ 本線以北及びJR東海岐阜 しまいせい とうかいとうかい 駅以西の東海道線以北に ぞう 属する地域、山県市、おひろし とすし もとすぐ 瑞穂市、本巣市、本巣郡	たかやま 高山	たかやましなだまち 高山市名田町3-82	0577-32-1020	たかやまし ひだし げらし 高山市、飛騨市、下呂市、おおのぐん 大野郡
				たじみ 多治見	たじみしはくさんちやう 多治見市白山町 1-29-1	0572-22-0101	たじみし みずのみし 多治見市、瑞浪市、とくし かにし か 巨港 土岐市、可児市、可児郡
岐阜南	岐阜市加納清水町 4-22-2	058-271-7111	ぎふし いちほし 岐阜市の一部、羽島市、かがみはらし はしまぐん 各務原市、羽島郡	なかつかわ 中津川	なかつかわし 中津川市かやの木町 4-3	0573-66-1202	なかつかわし えなし 中津川市、恵那市

小学校入学前の準備

あと、2か月も経てば入学の季節がやってきます。岐阜県内で子育てしている外国人のお母さんは様々な心配事があるかと思います。そこで小学校入学を控えたお子さんの準備の参考になるよう情報をまとめましたのでご覧ください。

入学に関するお知らせは市町村、学校から発送されます。届いていない場合や不明点等がある場合は教育委員会へお問い合わせください。

入学通知書

12月～2月頃にかけて市町村から「入学通知書」が届きます。主に書かれている内容は、保護者氏名、入学児童氏名、生年月日、入学期日、入学校名、入学式日です。名前など間違いがないか確認しておきましょう。この通知は入学式当日に必要なになるので失くさないようにしてください。

入学説明会

1月～2月にかけて「入学説明会」が小学校で行われます。こちらは小学校から案内があります。主な内容は学校のルール、必要な学用品、入学式について、学校に入るまでに出来るようになってほしいこと(挨拶、トイレ、着替え等)になります。多くの場合、昼から夕方にかけて3～4時間程説明会が行われます。

この中で特に学用品に関して多くの方が心配になるとおもうので、基本的に準備しなくてはならない物を一覧にしました。注意点として、学校指定の物(体操服、上靴等)でなければいけない場合があるので、それは入学説明会で必ず確認しておきましょう。

- (入学前に準備する物)
- ランドセル、通学用帽子、傘、レインコート、はんかち、ティッシュ、手提げバッグ、上靴、上靴入れ、筆箱、文房具、下敷き、はし、水筒、歯磨きセット、給食ナプキン、給食袋

当センターでは上記の内容を網羅した「外国人保護者のための小学校入学ガイドブック(日本語、英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語)」を作成してHP上で公開しておりますので、是非ダウンロードしてご活用ください。

URL: <http://www.gic.or.jp/2017/01/post-60.html>



Close up!

岐阜卓で活躍する団体の紹介



岐阜・ベトナム友好協会



岐阜・ベトナム友好協会は、岐阜県とベトナムとの友好関係の構築・発展を目的とするとともに、その実現のために、岐阜とベトナムとの友好交流促進に資する学術、経済、文化等の交流支援や、関係諸機関及び関係団体との連携並びにネットワークの構築などの活動を行う団体として、数多くの分野の皆様に参加いただき、平成28年2月に設立されました。それぞれの分野でご活躍の皆様はもとより、ベトナムとの交流に関心のある方のご参加を心からお待ちしております。



写真：ホーチミン市内(2016年2月)



ハローギフ・ハローワールド 2017にも出展しました!

お問い合わせ

岐阜・ベトナム友好協会

TEL:058-214-7700 FAX:058-263-8067
ホームページ:<http://www.gifu-vietnam.org/>

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2F 公益財団法人 岐阜県国際交流センター内 岐阜・ベトナム友好協会事務局

JICA岐阜県デスクからのお知らせ



世界の笑顔のために プログラム

身近にできる国際協力のご紹介!

こんにちは!JICA岐阜県デスクの世古英弘です!!今回は身近にできる国際協力プログラム、「世界の笑顔のために」をご紹介します!このプログラムは、開発途上国で必要とされている物品を日本国内で募集し、世界各国へ届けるプログラムです。ご提供いただいた物品は、JICAボランティアを通して、現地の人々へ届けられます。次回の募集期間は2018年4月上旬となります。詳しくはホームページをご覧ください。



私が赴任していたトンガ王国では、公立小学校の3年生~5年生は毎日15分間、そろばんを学習することになっていました。しかしトンガではそろばんが手に入らないので、このプログラムにより日本から送っていただいたことがあります。子供達は、一人ひとつそろばんをもつことができ嬉しそうだったのが印象的です。ご自宅が使われなくなったものでも、世界にはそれを必要としている人たちがいます。みなさまのご応募、お待ちしております!

詳しくは、ウェブサイトをご確認下さい!
世界の笑顔のために

~JICAボランティアや開発教育・国際理解教育、その他国際協力に関して、お気軽にお問い合わせください~

JICA岐阜県デスク 岐阜県国際協力推進員 世古英弘
TEL:058-263-8069 E-mail:jicadpd-desk-gifuken@jica.go.jp

このコーナーでは、当センターからのお知らせや県内の国際交流・多文化共生団体が開催するイベント・講座などの情報を掲載しています。

外国人住民のための相談対応・電話による行政通訳サービス

当センターでは、外国人住民のための相談対応を多言語で行っています。また、県や市役所などの行政窓口や公的機関に問い合わせをしたい場合、電話での通訳サポート(トリオフォン)が利用できます。
※通訳料金は無料(但し、通話料は相談者負担)。
お困りの際は、センターまでお気軽にご連絡ください。



3人同時に通話ができます(トリオフォン)

●英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語

月曜日～金曜日 9:30～16:30

●相談対応 TEL:058-214-7700

●トリオフォン TEL:058-263-8066

多言語Facebookはじめました!

イベント情報など外国人の皆様へ様々な情報をお届けしますので、「いいね!」や「シェア」をお願いします。

QRコードより、日本語、英語、中国語、ポルトガル語、タガログ語を選択できます。



Japanese/English/中文/Português/Tagalog

外国人の保護者向けライフプラン

ガイドブックを作成中です!

外国人県民の皆様の長期的な生活設計をサポートするため、日本で生活するうえでの教育、就労、社会保障などの知識や情報をまとめたライフプランガイドブックを作成中です。

日本の教育制度や必要となる教育費、定住する方が知っておくべき年金、医療保険、介護保険等公的な社会保険制度についての説明など情報満載です。

日本語版・ポルトガル語版・タガログ語版をホームページで順次公開してまいりますので、公開まで今しばらくお待ちください。

他団体からのお知らせ

★岐阜ゾンタクラブ チャリティーバザー

恒例のチャリティーバザーです。東北応援も含めて様々なお店が出店します。ご家族・お子様連れで是非にぎにぎしくご来場ください。

と き / 平成30年3月8日(木) 10:30~15:00

と ころ / 岐阜グランドホテル(岐阜市長良648)

定 員 / 400名

参 加 費 / 会員券2,000円(食事券付き)

問合せ先 / 岐阜ゾンタクラブ TEL:058-263-1250(事務局:安田多賀子)

★スリランカってどんな国?

スリランカの日常をのぞいてみよう!

と き / 平成30年3月11日(日) 10:30~12:00(受付10:00~)

と ころ / ヤマカまなびパーク 多治見市学習館 学習室501
(住所:多治見市豊岡町1-55)

定 員 / 80名

参 加 費 / 多治見国際交流協会 会員:無料 一般:500円

申込方法 / 電話で

申込期間 / 平成30年2月2日(金)~2月16日(金)

問合せ先 / 多治見国際交流協会(多治見市役所 文化スポーツ課)

住所:多治見市日ノ出町2丁目15番地

TEL:0572-22-1193 E-mail:tajimi-international@ob.aitai.ne.jp

HPアドレス: <http://www.tajimi-international.com>

広告主を募集しています!

当センターのホームページ(日本語、英語、ポルトガル語、中国語、タガログ語)、情報誌「世界はひとつ」(日本語、英語、ポルトガル語、中国語)に掲載する広告を募集しています。詳しくはセンターまでお問い合わせください。



いちき皮膚科

・診療時間
月・火・木・金・土: 9:00-12:00
月・火・木・金: 15:30-18:30
・休診日
土曜午後、水曜、日曜、祝日

〒502-0913
岐阜市東島 3-9-13
☎ 058-231-1237



発行・編集

公益財団法人岐阜県国際交流センター(略称GIC)

〒500-8875 岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル2階

電話 058-214-7700 FAX 058-263-8067

トリオフォン 058-263-8066(三者通話電話による行政通訳サービス)

E-mail gic@gic.or.jp URL <http://www.gic.or.jp>

開館案内 開館 日～金曜日 9:30～18:00 休館 土曜日、祝日、年末年始

対応可能言語 英語、中国語、タガログ語、ポルトガル語

発行日

平成30年2月1日発行(年3回発行 7月、11月、2月)

